



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月14日

上場取引所 東

上場会社名 シンプロメンテ株式会社
コード番号 6086 URL <http://shin-pro.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 秀治郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大崎 秀文

TEL 03-5767-1616

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年2月期第2四半期 | 2,246 | 18.1 | 71 | △32.5 | 71 | △32.5 | 42 | △30.8 |
| 26年2月期第2四半期 | 1,902 | — | 105 | — | 105 | — | 61 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年2月期第2四半期 | 24.44 | 23.54 |
| 26年2月期第2四半期 | 46.34 | — |

(注)1. 当社は第2四半期の業績開示を平成26年2月期より行っているため、平成26年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載していません。
2. 当社は、平成25年8月14日開催の取締役会の決議により、平成25年9月5日付で普通株式1株を200株に分割しております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 平成26年2月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権残高はありましたが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年2月期第2四半期 | 1,801 | 803 | 44.6 |
| 26年2月期 | 1,567 | 786 | 50.2 |

(参考)自己資本 27年2月期第2四半期 803百万円 26年2月期 786百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年2月期 | — | 0.00 | — | 15.00 | 15.00 |
| 27年2月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年2月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,200 | 14.3 | 220 | 19.1 | 220 | 23.3 | 124 | 20.3 | 71.87 |

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年2月期2Q | 1,730,100 株 | 26年2月期 | 1,730,100 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年2月期2Q | — 株 | 26年2月期 | — 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年2月期2Q | 1,730,100 株 | 26年2月期2Q | 1,319,200 株 |

(注)当社は、平成25年8月14日開催の取締役会の決議により、平成25年9月5日付で普通株式1株を200株に分割しております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 4. 四半期財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景とした企業収益の持ち直しと、それに伴う雇用情勢の改善や設備投資の増加の動きが見られ、加えて堅調に推移した株式市場を背景とした消費者マインドの改善にも支えられ、全体としては緩やかな回復基調が続いております。

このような経済環境の下、当社の主力取引先である外食産業は、消費税増税後も堅調を維持してきましたが、夏場に入り、客単価は前年を上回ったものの客数減により売上高もやや低迷、あるいは前年割れする顧客も現れるという結果となりました。一方、物販・小売産業は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がありましたが、夏場以降は次第にその影響が薄れ、回復が見られる状況となっております。今後の売上高の動向は、個人消費のニーズに如何に対応するかが重要になるものと思われまます。

当社が展開するメンテナンスサービス事業は、店舗の設備・機器の修理・修繕といった店舗運営には欠かせない業務を当社がアウトソーサーとして担うことによって顧客へ利便性・効率性・経済性を提供しております。メンテナンスのニーズそのものは、設備・機器の存在がある以上、底堅いものがあり、当社としても一層素早く、的確な対応が実現できるように、当社人員の増強による量的強化及び教育研修による質的強化に加え、メンテナンス協力業者のネットワーク拡充を継続して行っております。また営業面におきましては、サービス対象業界の拡大及びサービス対象店舗数の増加を目指した営業活動を強化し、規模及び価格での競争力を高めるよう徹底して推進すると同時に、顧客の多様なニーズに対する新たなメンテナンスの提案・計画・実施を推進しております。

これらのことから当社売上高の大半を占める「緊急メンテナンスサービス」につきましては、大口の新規顧客獲得やメンテナンス業務をアウトソーシングしようと取り組む一部既存顧客との取引量拡大のほか、夏場特有のエアコン機器に関連するメンテナンス依頼件数の増加があったことで、業績を伸ばしました。

また、突発的な設備・機器の不具合発生を未然に防ぎ、スムーズな運転状況も維持する「予防メンテナンスサービス」につきましては、今までの実績が評価され、主力メニューのエアコンや冷凍・冷蔵機器の点検・整備・洗浄のサービスは一定の受注数を確保しております。

機器メーカーのアフターサービスであるメンテナンスを受託し、また、各種サービス提供企業へのメンテナンスサービスのOEM的展開を行う「メンテナンスアウトソーシングサービス」につきましては、各メーカーや各企業との協業を進め、受託アイテムの拡充に取り組んでおります。

以上のように、全体的な売上は順調に伸ばすことができましたが、外注費・材料費等原価の高騰が起こっており、経常利益についてはその影響を受けることとなりました。また、夏場の繁忙期および将来的・長期的な受注数増加を見据えた早期の人員確保による販管費の増加も、経常利益に影響を与える結果となりました。

上記の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,246,121千円(前年同期比18.1%増)、経常利益71,319千円(前年同期比32.5%減)、四半期純利益は42,291千円(前年同期比30.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は前事業年度末と比較して233,973千円増加し、1,801,597千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加259,627千円によるものであります。

(負債)

負債合計は前事業年度末と比較して217,393千円増加して、998,176千円となりました。これは主に、買掛金の増加214,936千円及び未払金の増加18,428千円によるものであります。

(純資産)

純資産は前事業年度末と比較して16,579千円増加し、803,421千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により42,291千円増加したものの、配当金の支払により25,951千円減少した結果によるものであります。

2. キャッシュフローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期累計期間に比べ194,094千円増加し、当第2四半期累計期間末では874,950千円になりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は3,340千円（前年同期は125,925千円）となりました。これは主に税引前四半期純利益71,319千円、法人税等の支払額が56,634千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は56,295千円（前年同期は6,308千円）となりました。これは主に定期預金の預入による支出53,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により使用した資金は25,951千円となりました（前年同期は該当事項なし）。これは主に配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月11日に公表いたしました通期の業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際に業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成26年2月28日) | 当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 903,856 | 827,950 |
| 受取手形及び売掛金 | 486,919 | 746,547 |
| 有価証券 | 50,000 | 50,000 |
| 商品 | 18,801 | 20,668 |
| 未成業務支出金 | 8,836 | 13,567 |
| 繰延税金資産 | 5,893 | 4,284 |
| その他 | 13,377 | 10,116 |
| 貸倒引当金 | △1,665 | △2,679 |
| 流動資産合計 | 1,486,020 | 1,670,455 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 29,360 | 29,630 |
| 無形固定資産 | 8,992 | 8,527 |
| 投資その他の資産 | 43,251 | 92,983 |
| 固定資産合計 | 81,603 | 131,142 |
| 資産合計 | 1,567,623 | 1,801,597 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 665,452 | 880,388 |
| 未払金 | 30,391 | 48,820 |
| 未払法人税等 | 58,872 | 29,229 |
| その他 | 15,190 | 28,726 |
| 流動負債合計 | 769,907 | 987,165 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 7,870 | 7,916 |
| 繰延税金負債 | 3,005 | 3,095 |
| 固定負債合計 | 10,875 | 11,011 |
| 負債合計 | 780,782 | 998,176 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 229,323 | 229,323 |
| 資本剰余金 | 187,684 | 187,684 |
| 利益剰余金 | 368,887 | 385,227 |
| 株主資本合計 | 785,895 | 802,235 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 946 | 1,185 |
| 評価・換算差額等合計 | 946 | 1,185 |
| 純資産合計 | 786,841 | 803,421 |
| 負債純資産合計 | 1,567,623 | 1,801,597 |

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,902,451 | 2,246,121 |
| 売上原価 | 1,493,382 | 1,773,495 |
| 売上総利益 | 409,069 | 472,626 |
| 販売費及び一般管理費 | 303,593 | 401,413 |
| 営業利益 | 105,476 | 71,212 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 81 | 94 |
| 受取配当金 | 12 | 12 |
| その他 | 179 | 59 |
| 営業外収益合計 | 272 | 165 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | - | 59 |
| 為替差損 | 42 | - |
| 営業外費用合計 | 42 | 59 |
| 経常利益 | 105,706 | 71,319 |
| 税引前四半期純利益 | 105,706 | 71,319 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 47,327 | 27,460 |
| 法人税等調整額 | △2,757 | 1,567 |
| 法人税等合計 | 44,569 | 29,027 |
| 四半期純利益 | 61,137 | 42,291 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

| | (単位：千円) | |
|-------------------------|---|---|
| | 前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 105,706 | 71,319 |
| 減価償却費 | 6,966 | 4,519 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 492 | 1,014 |
| 受取利息及び受取配当金 | △93 | △106 |
| 支払利息 | - | 59 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △197,045 | △259,627 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,868 | △6,598 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 239,611 | 214,936 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 4,409 | 18,428 |
| その他 | 3,548 | 15,974 |
| 小計 | 161,726 | 59,919 |
| 利息及び配当金の受取額 | 84 | 115 |
| 利息の支払額 | - | △59 |
| 法人税等の支払額 | △35,884 | △56,634 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 125,925 | 3,340 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △4,000 | △53,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,231 | △2,987 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △500 | △1,287 |
| 貸付けによる支出 | △1,470 | △690 |
| 貸付金の回収による収入 | 990 | 1,760 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | - | △93 |
| その他 | △96 | 2 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,308 | △56,295 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | - | 200,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | - | △200,000 |
| 配当金の支払額 | - | △25,951 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | - | △25,951 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 119,617 | △78,905 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 561,239 | 953,856 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 680,856 | 874,950 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、顧客店舗の設備・機器に対するメンテナンスサービスの提供を主軸に事業を展開しており、単一セグメントに属しているため、セグメント情報は記載を省略しております。